

気候情報

2009年2月の日本の天候

- 全国的に高温
- 沖縄・奄美で顕著な少雨・多照
- 東・西日本日本海側で顕著な少雪

2月の天気概況

短い周期で低気圧が日本付近を通過し、北日本から西日本では天気は数日の周期で変わった。中旬後半に一時冬型の気圧配置となり、北日本中心に寒気の影響を受け、北日本日本海側で曇りや雪の日が続いた。このほか、寒気の影響は小さく、東・西日本日本海側では顕著な少雪となり、全国的に高温で経過した。特に、13日から14日にかけては、低気圧が日本海を発達しながら通過して暖気が入ったため、東日本では2月としての日最高気温の高い値を更新したところがあった。また、20日から21日にかけて、北日本の東海上で低気圧が急速に発達し、北日本で暴風雪による交通障害が生じた。沖縄・奄美では上旬と下旬を中心に高気圧に覆われ、晴れて気温の高い日が多く、月平均気温は1946年の統計開始以来最も高かった。

上旬：北日本から西日本では低気圧と高気圧が交互にとおり、天気は数日の周期で変わった。東日本太平洋側では低気圧の通過による天気の崩れは小さく、この期間ほとんど降水は無かった。沖縄・奄美では、高気圧に覆われ晴れる日が多かった。大陸からの寒気の南下は弱く、冬型の気圧配置となることがほとんど無かったため、全国的に高温となった。

中旬：東・西日本では低気圧と高気圧が交互にとおり、天気は数日の周期で変わった。13日から14日にかけて、低気圧が日本海を発達しながら通過して暖気が入ったため、全国的に気温が上がった。東日本中心に一部で夏日となり、静岡や横浜など2月としての日最高気温の高い値を更新したところがあった。北日本ではこの低気圧の通過後、冬型の気圧配置となり、中旬は曇りや雪または雨の日が多かった。沖縄・奄美では高気圧の縁辺や前線の影響で曇りの日が多かった。

下旬：日本付近を低気圧が頻繁に通る、北日本から西日本では曇りや雨または雪の日が多かった。20日から21日にかけて、低気圧が北日本の東海上で急速に発達し、北日本では暴風雪による交通障害が生じた。沖縄・奄美では、高気圧に覆われ、晴れて気温の高い日が多かった。名瀬や那覇など2月としての日最高気温の高い値を更新したところがあった。

2月の気候統計

月平均気温：全国的に高く、特に東日本から沖縄・奄美にかけてはかなり高かった。東日本から沖縄・奄美にかけて、大半の地点で平年を2℃以上上回り、

3℃以上上回ったところもあった。

月降水量：北日本日本海側でかなり多く、北日本太平洋側と西日本で多かった。これらの地方では平年の170%以上となったところがあった。一方、沖縄・奄美ではかなり少なく、東日本日本海側では少なかった。東日本太平洋側では平年並だった。

月間日照時間：月間日照時間は、沖縄・奄美でかなり多く、東日本日本海側で多かった。一方、北日本と東日本太平洋側では少なく、西日本では平年並だった。

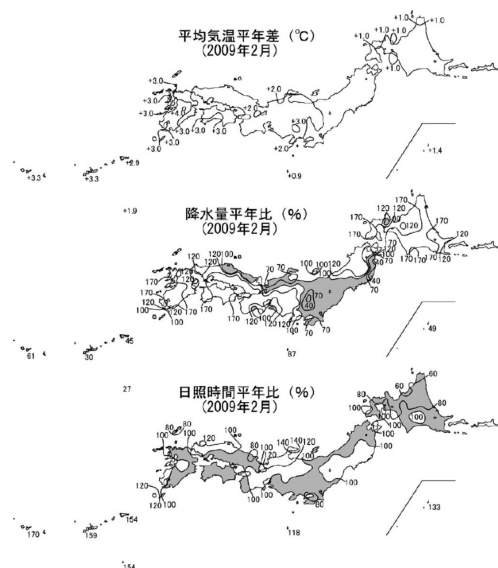
降雪・積雪：降雪の深さ月合計は、北海道日本海側で多く、北海道オホーツク海側および太平洋側でもかなり多かった。一方、東北地方から西日本にかけての日本海側では、かなり少なかった。月最深積雪は、北海道では平年を上回るところがあったが、その他は全国的に平年を下回った。

(気象庁観測部統計室)

2月の記録(1位更新のみ)

- ・月平均気温高い方から(℃)
 - 静岡 9.7 厳原 9.3 屋久島 14.9
 - 那覇 19.9 石垣島 21.9 など12地点
- ・月間日照時間多い方から(時間)
 - 南大東島 169.5
- ・降雪の深さ月合計多い方から(cm)
 - 稚内 254 雄武 133 網走 148
 - 苫小牧 94 浦河 64

2009年2月の平年差(比)図



注) 陰影の部分は、平年より低い(少ない)地域を示す。